

山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園  
令和7年度 第4回学校運営協議会 議事録

日時：令和8年2月19日（木）15:30～17:00

場所：特別支援学校うぐいすの杜学園メディアルーム

第4回 学校運営協議会

- 1 開会のことば
- 2 校長挨拶
- 3 議事【進行：議長】
  - (1) 教育実践の報告
  - (2) 学校評価について
    - ①本年度の自己評価の報告
    - ②学校評価（学校関係者評価）について
    - ③成果と次年度への課題・改善策について
  - (3) 協議（意見、要望等）
  - (4) その他
- 4 連絡事項
  - ・令和7年度卒業証書授与式について
  - ・次年度の学校運営協議会について
- 5 閉会のことば

1. 開会

教頭より開会の挨拶があり、協議会を開始した。

2. 校長挨拶

校長より、本年度の教育活動の進捗および協議に向けた主旨説明があった。

3. 議事

(1) 教育実践の報告

① 今年度の教育実践の概要

- ・在籍児童生徒数が増加し、小集団での学習体制が本格化した。
- ・ICTを活用した授業改善を進め、読み書きの負担軽減や理解促進に成果がみられた。
- ・全教員参加の「情報交換会」を新設し、支援方針の統一や児童理解が進んだ。
- ・児童アンケートでは「学習した内容をもっとやりたい」という声が多く、学習意欲の向上が確認された。

② 行事・体験活動

- ・うぐいす祭、音楽体験（尺八・琴）、サッカー教室、テルミン演奏体験など多様な学習機会を提供。

- ・避難訓練（火災・洪水・引き渡し訓練）、シェイクアウト訓練を定期実施。
- ・体験を通して集団参加への不安が軽減し、達成感を得る児童が増加した。

### ③ 情報発信

- ・ホームページにて授業・行事の様子を発信。
- ・個人情報保護の観点から児童写真は掲載せず、教員の活動や学校環境を中心に紹介。
- ・双方向性のある発信方法について今後検討していく。

## (2) 学校評価について【資料に基づき説明】

### ① 重点目標 1：基礎学力の定着

#### 【成果】

- ・特性に応じた小集団編成、ICT活用、学習内容確認表による指導改善が進んだ。

#### 【課題】

- ・関係機関との支援方針のずれ
- ・ICTとアナログ教材のバランス
- ・振り返り活動の充実

#### 【改善策】

- ・支援方針の共有体制強化
- ・ICT×アナログのハイブリッド授業設計
- ・振り返り活動の体系化

### ② 重点目標 2：体験的活動と心の育成

#### 【成果】

- ・行事、体験を通じた主体性や協調性の育成
- ・成功体験による自己肯定感向上

#### 【課題・改善策】

- ・活動前後の不安軽減の工夫
- ・活動目的の共有
- ・評価基準の明確化と振り返り強化

### ③ 重点目標 3：関係機関連携

#### 【成果】

- ・心理治療センターとの会議や引継ぎ書作成が前進

#### 【課題】

- ・情報解釈のずれ
- ・三者会議（学校・児相・センター）の開催確保の難しさ

#### 【改善策】

- ・担当連絡会の計画的開催
- ・共有システムの検討

### ④ 重点目標 4：防災／地域連携・情報発信

- ・一時避難所運営会議を初開催。
- ・避難所マニュアル整備・地域との連携強化を継続。
- ・情報発信の双方向化を検討。

### ⑤ 重点目標 5：病弱教育の専門性向上

- ・校内外研修の充実、研究テーマの明確化。
- ・外部研修・デジタルアーカイブ化の必要性が課題。

### ⑥ 重点目標 6：働き方改革

- ・会議効率化・文書テンプレート整備・在校時間管理に進展。

- ・児童数増加に伴う負担増が課題であり、業務分担の見直しを継続する。

### (3) 協議・質疑応答

- ・体験活動の充実に関して評価の声があり、今後も継続を希望。
- ・中庭環境（丸太遊具）の劣化について安全面の観点から改善を検討。
- ・子どもが自然に触れる機会（虫の観察等）は残せる形を検討。
- ・プラザ内の情報共有方法について、システム統一の難しさが指摘されつつも改善を希望。
- ・地域とのつながりづくりについて、配布物の範囲拡大や地域行事との連携の意見があった。
- ・教員の働き方に関して、情報交換会など「相談しやすい場の確保」の重要性が指摘された。

### (4) その他

- ・卒業証書授与式の案内（小学部：3/17、中学部：3/10）
- ・次年度の学校運営協議会日程の確認
- ・委員への次年度継続を依頼

## 4. 閉会

教頭より閉会の挨拶があり、協議会を終了した。

==以上==